様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月23日

部局等名	教育推進部	課かい名	社会教育課	推進責任者氏名	瀧田　美穂

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	倉庫の整理整頓に努め、執務室内で点在していた事務用品置き場を一カ所に集約した。クリアファイル等の事務用品は回収し棚に配架することで、新規に購入することなく事務用品の再利用を促した。一部の用紙が2カ所の倉庫にまたがって配架されているため、今後一カ所に集約する。
	具体的内容	事務用品を計画的な管理と再利用を図る。また、資源のリサイクルのため執務室内のごみの分別を徹底する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	離席や休憩等でノートパソコンを使用しないときは積極的にふたを閉じた。退庁時に執務室内に人員がいなくなる場合に複合機の電源を切ることを努めた。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しないときは電源を切り、短時間の離席時はノートパソコンのふたを閉じることを徹底します。	
3	取組項目	E. その他	夏季の屋外作業において、熱中予防を念頭に適切な水分・塩分補給を徹底した。
	具体的内容	夏季の屋外作業の際は定期的に休憩し、水分・塩分を摂取し、帽子をかぶり熱中症対策を徹底します。	

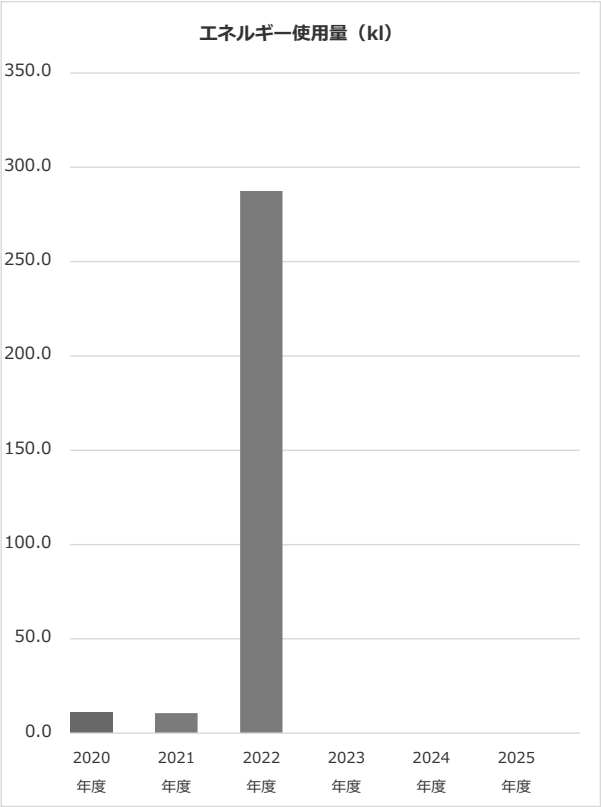
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　2617.5% %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	茅ヶ崎博物館開館によるエネルギー使用量増加のため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	428.0	410.0	11141.6			
エネルギー使用量（kl）	11.0	10.6	287.5	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	-4.2%	2617.5%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	文化資料館	計画	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めます。
		実績	空調機設備の適正利用に努め、過度な冷房・暖房使用とならないようにした。
2	（仮称）茅ヶ崎市歴史文化交流館(現　茅ヶ崎市博物館)	計画	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めます。
		実績	空調機設備の適正利用に努め、過度な冷房・暖房使用とならないようにした。
3	梅田文化財収蔵庫	計画	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めます。
		実績	空調機設備の適正利用に努め、過度な冷房・暖房使用とならないようにした。
4	文化財調査事務所	計画	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めます。
		実績	空調機設備の適正利用に努め、過度な冷房・暖房使用とならないようにした。

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	新型コロナウィルス対策の関係で、担当で集まっての研修実施が難しかったため、書面での開催とした。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	新型コロナウィルス対策の関係で、担当で集まっての研修実施が難しかったため、朝礼等を利用し逐次周知に努めた。
新任・異動者研修	■ 実施	新型コロナウィルス対策の関係で、担当で集まっての研修実施が難しかったため、朝礼等を利用し逐次周知に努めた。C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
■ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月23日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
職員が一丸となり、環境に配慮した業務遂行を心がけ、省エネルギー活動を行えたと評価する。ミスプリントの再利用やLOGOチャットを活用した紙資源の削減も定着している。次年度も継続してC-EMS実施計画書を意識した業務遂行を促したい。	職員がC-EMS実施計画書を意識した施設運営をするよう職場雰囲気の醸成し、前年度に引き続き、省エネルギー活動を推進したい。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月22日

部局等名	教育推進部	課かい名	青少年課	推進責任者氏名	関山　知子

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	消耗品は使用した分を計画的に購入し、必要最低限の在庫量を維持するように努めた。 封筒については、再利用できる状態であれば、逓送便用の封筒などで繰り返し使用した。
	具体的内容	物品等は計画的に購入し、適切な在庫管理を行う。また、ファイルや封筒等の事務用品は繰り返し使用（リユース）するとともに資源の分別に努める。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	庁内のペーパーレス化だけではなく、地域への通知等もメールを使用することで全体的なペーパーレス化ができた。また、印刷は可能な範囲で裏紙を使用し紙の消費量を削減した。
	具体的内容	電子メール、logoチャット等を活用し、ペーパーレス化を推進する。印刷する際には両面印刷や集約印刷を積極的に活用する。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	パソコンの電源について、シャットダウンとふたを閉じることでエネルギー使用量の削減に努めた。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しない時は電源を切る、短時間の離席時にはふたを閉じることでエネルギー使用量の削減に努める。	

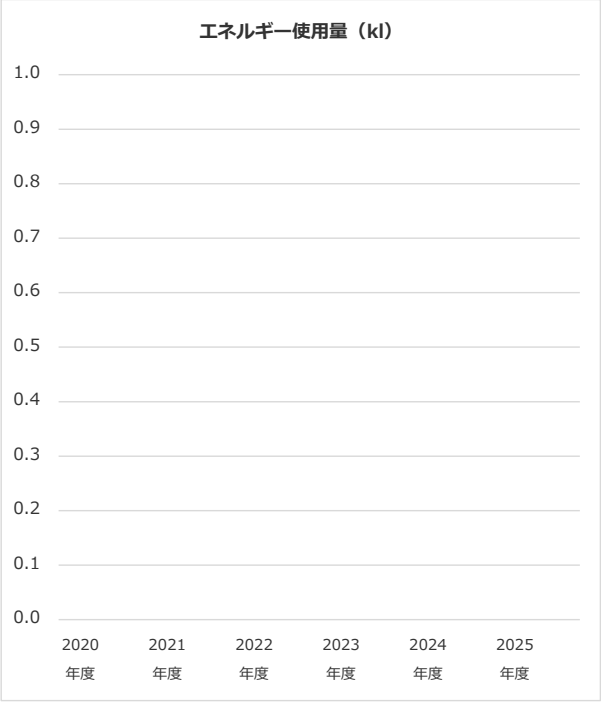
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　　%	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）						
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月17日に実施。C-EMSの概要、今年度の重点取組項目や取組目標について共有を図った。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月22日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
昨年度は、庁内での情報共有をチャットツールを用いることよってペーパーレス化につながり、今年度は関係団体等への連絡もメールを活用することでペーパーレス化の促進ができた。	市役所温暖化対策に基づき、日々のエネルギー削減、資源の有効利用等についての意識を課内で共有し、今後も省エネに取り組む。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月17日

部局等名	教育推進部	課かい名	青少年会館	推進責任者氏名	寺島　薫子

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	利用者用のごみ箱は自動販売機用以外は設置せず、ごみの持ち帰りを促す掲示を行いました。執務室に回収日の掲示を行い、事前配布された指定ゴミ袋の範囲での排出となりました。
	具体的内容	物品等は、計画的な管理と再利用を図ります。また、館内のごみの分別を徹底するため、執務室に産業廃棄物一覧・回収日の掲示等をするとともに、利用者にもごみの持ち帰りを呼びかけます。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	新型コロナウイルス感染症感染対策による換気を行いながらも、空調の使用は最小限に抑えました。また、執務室から全館の空調稼働状況を随時監視し、温度設定等の是正を行いました。
	具体的内容	館内空調の適正な換気及び設定を行い、室温を適正に管理します。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	クールビズ、ウォームビズを実施いたしました。起動にエネルギーを使用するパソコン、プリンタ等の機器は一時的に使用しない時間数に合わせ、スリープ機能やシャットダウンを使い分けました。
	具体的内容	職員のクールビズ等の徹底、定時退庁に努めます。その他パソコンを長時間使用しないときは、電源を切る。短時間の離籍時はノートパソコンのふたを閉じる等、エネルギー使用量の削減を意識しながら執務します。	

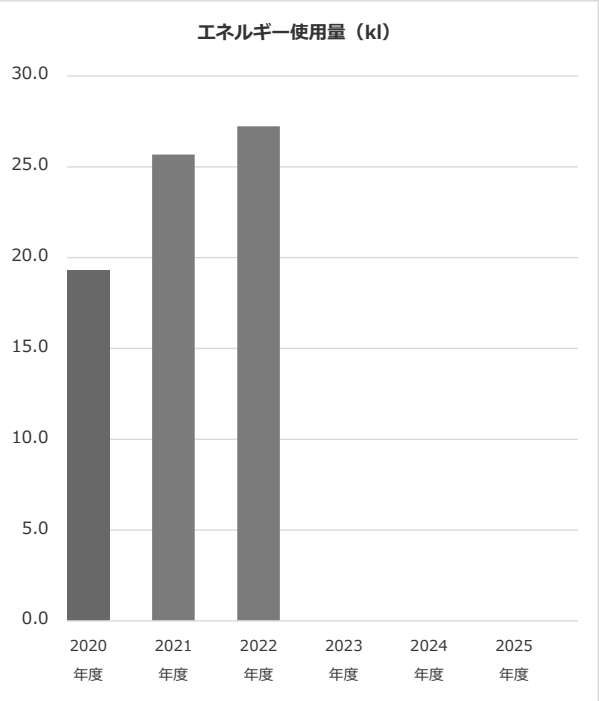
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　6　%	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	前年度に比べて団体利用件数の増加のため、エネルギー使用量が増加したため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	748.9	995.3	1055.3			
エネルギー使用量（kl）	19.3	25.7	27.2		0.0	0.0
対前年度比（%）	—	32.9%	6.0%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	青少年会館	計画	空調設備点検を年2回実施します
		実績	5月及び10月に実施しました
2	青少年会館	計画	施設利用者へ空調、照明利用の省エネ協力を依頼し
		実績	照明の一部消灯等を行い、その旨の案内及び節電を
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月８日に実施（対象者９名中６名参加。夜間管理業務員３名には別途決定事項の周知を実施）
法令遵守確認研修	■ 実施	６月８日に実施（対象者９名中６名参加。夜間管理業務員３名には別途決定事項の周知を実施）
新任・異動者研修	■ 実施	４月１日に概要を説明し、詳しい内容については上記のとおり実施。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月17日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
「エコオフィス行動ルール」の取組目標は達成されており、研修等についても実施いたしました。	引き続き法令を遵守しながら、エネルギー削減に努めます。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月13日

部局等名	教育推進部	課かい名	学校教育指導課	推進責任者氏名	力石　裕司

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	ファイルの繰り返しの利用や、使用済みの封筒を逓送用の封筒に再利用するなど、廃棄物の削減を図った。
	具体的内容	ファイルや封筒、その他の事務用品は繰り返し使用(リユース)する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	これまで紙媒体で行っていた各学校からの報告等について、GoogleWorkspaceのアプリケーション等を活用することで、可能な範囲で電子化を図った。
	具体的内容	学校とのやり取りや、課内での共有などにおいて、紙で行う必要のないものについては、極力電子化することで、ペーパーレス化を図る。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	使用していない相談室や昼休みのフロアの消灯等について、朝礼での注意喚起や日頃の声かけ等により、徹底を図った。
	具体的内容	必要のないところの照明はこまめに消灯する。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

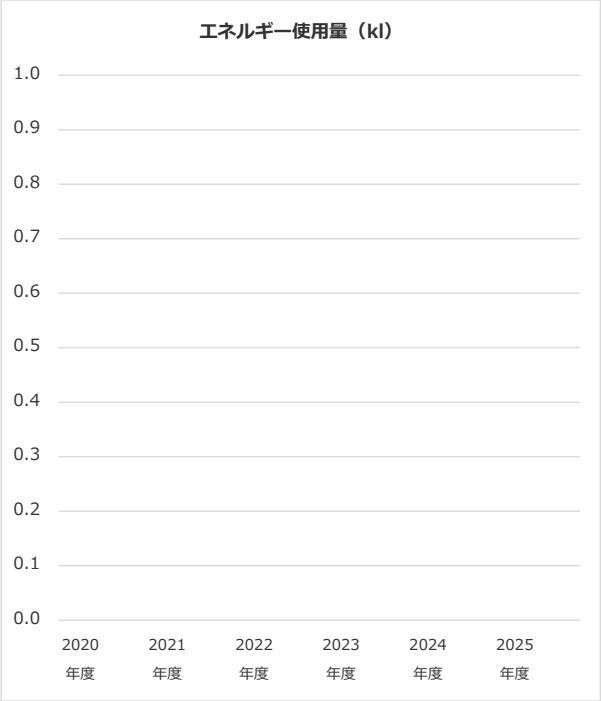
実績	前年度比　　%	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）						
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	５月２０日に実施（対象者１０名中１０名参加）。 C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	５月２０日に実施（対象者２名全員参加）。 C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月13日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
課員全員が取組目標を認識するとともに、毎日の朝礼や課員同士の日頃からの声かけ等により、可能な範囲で真に必要な省資源・省エネルギーに努めている。中でも、昼休みの消灯等による節電や、学校からの報告書等の電子化によるコピー用紙の節約等への取組は定着している。	引き続き、課内で環境に配慮した働き方について共通理解を図り、真に必要な局面において、省資源・省エネルギーを意識しながら業務遂行できるよう、努めていく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月20日

部局等名	教育推進部	課かい名	体験学習センター	推進責任者氏名	松下　晃久

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	・廃棄物を適切に分類し、誤った分類があった場合は適切に分類できるよう職員及び会計年度任用職員に周知を行った。 ・落とし物を一定期間保管しているが、保管期間が過ぎたもので、体験学習センターとして使用できるもの（ボール等）は廃棄をせず、再活用を行った。
	具体的内容	・廃棄物を適正に分別し、種類ごとに排出する。 ・再利用できるものが混ざっていた場合は、職員への意識づけを行った上で、再利用する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	・コピー用紙の画面印刷及び裏紙を積極的に使用した。エコ印刷を基本として、トナーの消耗を減らした。 ・井水利用による植栽等への散水は引き続き行い、散水時間を必要時間に短くするなど光熱水エネルギーの負荷を減らした。 ・太陽光発電の勝代も引き続き行い、光熱水エネルギーの負荷を減らした。
	具体的内容	・コピー用紙の両面印刷及び裏紙使用に積極的に取り組む。 ・印刷時は、エコプリントを活用する。 ・井水利用による植栽等への散水や太陽光発電の活用により、光熱水エネルギーの負荷を削減する。	
3	取組項目	E. その他	・パーゴラ緑化、グリーンネット緑化による建物の上昇温度抑制を図るとともに、グリーンネット緑化でのさやえんどうの親子野菜収穫体験を行い、環境に針よした取り組みの一部を理解していただくことができた。
	具体的内容	パーゴラ緑地及びグリーンネット緑化により、建物の上昇温度抑制を図る。	

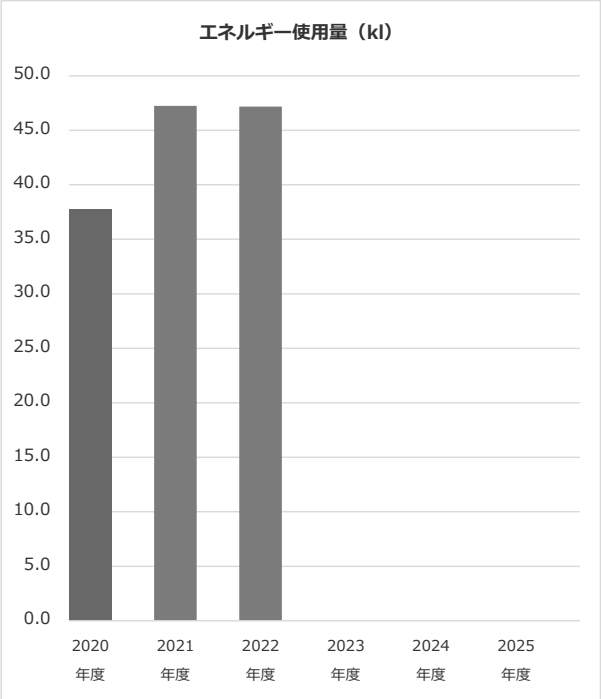
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　　-0.1 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	登録団体の利用時間数が前年度の約1.5倍となるなど施設の利用が増加したため、省エネルギーに努めたが前年度と同程度のエネルギー使用量に留まり削減には至らなかった。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	1465.0	1831.0	1829.0			
エネルギー使用量（kl）	37.8	47.2	47.2	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	25.0%	-0.1%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	施設内空調設備	計画	空調室内機、全熱交換機フィルターの清掃を3か月に1回以上実施する。
		実績	空調の室内機、室外機、全熱交換等フィルターの清掃を全9回実施した。
2	新オリーブ広場周辺の雨水排水設備	計画	大雨注意報・警報発令時等に、雨水槽及び側溝内に溜まっている松葉や樹皮等を除去する。
		実績	新オリーブ広場、2階テラス周辺の雨水槽、側溝内に詰まった松葉、樹皮等を定期的に除去した。
3		計画	
		実績	

様式1

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	朝礼の時間を活用し、C-EMSの概要や重点取組項目、具体的な取り組みを伝えた。 令和5年2月7日に実施された、環境マネジメントシステム外部監査結果報告会で外部監査の報告内容を課内で共有後、良好事例を真似して省エネを呼びかける表示を作成し各部屋に表示した。
法令遵守確認研修	■ 実施	
新任・異動者研修	■ 実施	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月20日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
令和4年度については、引き続き、新型コロナウィルスの感染防止対策を講じながら酷暑・極寒の時期を乗り切ることとなったが、世界的なエネルギー価格の高騰が重なり、光熱水費については2度の補正予算で対応せざるを得ない状況であった。そのような中であったが、職員は常に省エネルギーを心掛けており、可能な限り、環境に配慮した取り組みを実施できたものと評価する。	施設の温度設定については利用者からの苦情が多く、対応に苦慮している。利用者にはなかなかご理解いただけない状況であるが、創意工夫により取組目標を達成できるよう施設として取り組んでいく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月14日

部局等名	教育推進部	課かい名	図書館	推進責任者氏名	松岡　俊子

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	上半期に事務用品の使用量が増加傾向にあったため、職員に再度、節約と整理整頓による計画的な管理を促し、削減に努めた。執務室内に再利用可能な紙類の分別袋を用意した。物品は可能な限り修繕利用に努めた。年度当初に事務用品の使用量が増える傾向にあるので、館内での啓発に努めたい。
	具体的内容	事務用品の計画的な管理と再利用を図る。執務室内に再利用可能な紙類の分別袋を用意する。物品の修繕利用に努める。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	各日の気温に合わせて、冷温水発生機自体の稼動時間を調節することにより、エネルギー使用量の削減に努めた。また、休憩時間や使用していない部屋の消灯に努め、不要なエネルギー使用を削減した。
	具体的内容	室温に合わせた窓の開閉及び空調機器の適切な管理により、不要なエネルギー使用を削減する。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	長距離や荷物運搬以外での公用車の使用を控え、徒歩や自転車での移動に努めた。公用車運転時にはエコドライブに努めた。なお、故障中だった自転車の修理を行い、2台の使用が可能になった。
	具体的内容	移動時の距離に合わせた交通手段を選択する。公用車の使用を控え、共用自転車を活用する。公用車運転時にはエコドライブに努める。	

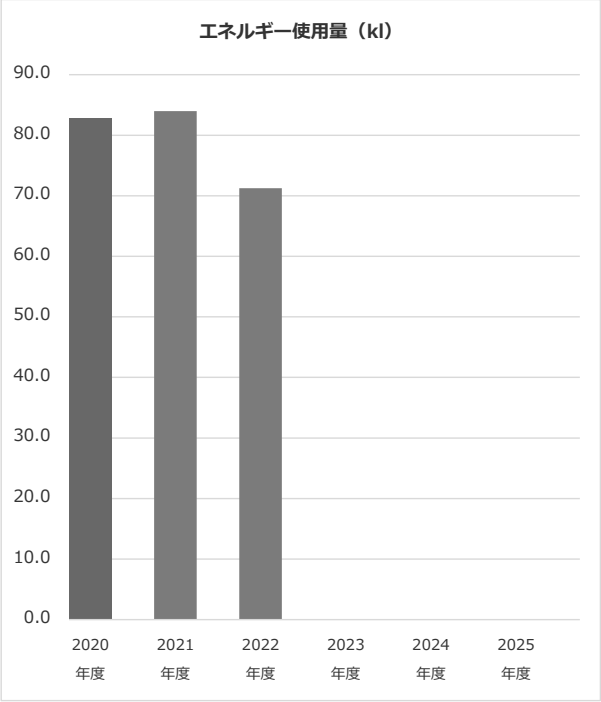
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 −15.1% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	多くの方が利用する施設として、夏季、冬季ともに省エネ協力の呼びかけを行いながら、利用者の健康への配慮、その日の気温の変化の予報など様々な視点で空調の使用を心掛けたため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	3208.0	3254.9	2762.1			
エネルギー使用量（kl）	82.8	84.0	71.3	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	1.5%	−15.1%	−100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	図書館	計画	空調機器（冷温水発生機）の温度設定の定期的な見直し
		実績	令和3年度の見直しの結果、使用量の抑制につながったため、4年度も継続している。
2	図書館	計画	掲示などにより、施設利用者への空調、照明利用の省エネ協力の呼びかけ
		実績	利用者の目にとまる場所に継続的に掲示で呼びかけをし、概ね理解を得られている。
3		計画	
		実績	

様式1

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月１日～２日に実施（対象者１４名及び会計年度任用職員）。担当者が研修会に参加後、研修資料の回覧及び翌日の朝礼時にC-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	６月１６日に実施（担当者４名）。休館日に担当が集まり、法令遵守の確認を行った。
新任・異動者研修	■ 実施	４月５日の朝礼時（該当者３名）。C-EMSを通じた市役所温暖化対策について、C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	（選択してください）	

(3)指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月14日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
日頃から会計年度任用職員も含めた全職員にエネルギーの節約を呼び掛けている効果が表れ、年度を通した電気･ガスの使用量は令和3年度よりも減少する見込みであり、取り組みを通じた成果が出ていると考える。	職員体制が入れ替わる年度当初に事務用品や各エネルギーの使用量が増加する傾向にあるため、取組目標設定研修などを異動者に確実に行うとともに、朝礼時などに常に声かけを継続し、職員一人一人に省エネについて意識付けをしていく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月2日

部局等名	教育推進部	課かい名	教育センター	推進責任者氏名	日髙　恭子

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	ファイルや逓送用封筒等の再利用を実践し、廃棄物を削減できた。
	具体的内容	ファイル及び逓送用封筒等を再利用する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	・空調については、設定温度を遵守し、上着の着脱により調整を行った。 ・照明等については、使用していない部屋等の消灯を徹底した。 ・会議については、時間短縮を実践した。
	具体的内容	適切な空調管理、照明やOA機器等の節電、会議の省資源化に努める。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	刊行物のデータ化により、用紙使用量が削減できた。
	具体的内容	報告書や刊行物のデータ化、印刷部数を精査し、用紙使用量の削減に努める。	

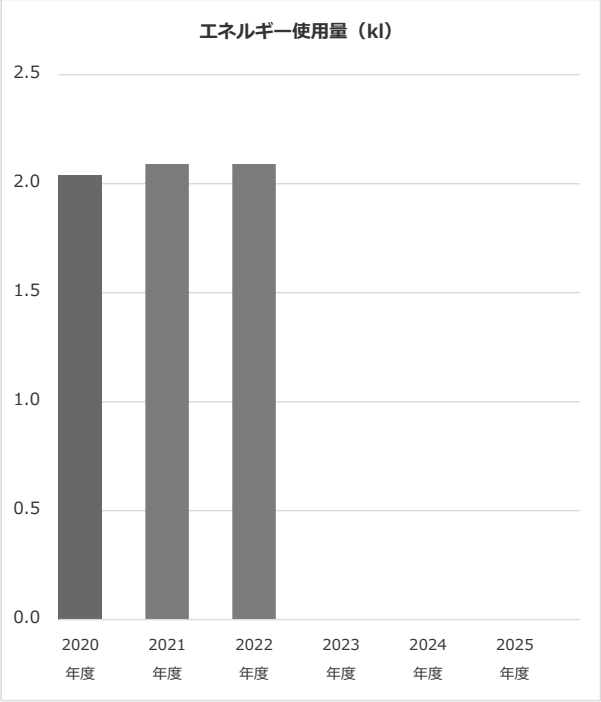
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　0.0　%	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	空調、照明利用の省エネを意識して取り組んできたが、結果は前年同様のエネルギー使用量となった。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	79.0	81.0	81.0			
エネルギー使用量（kl）	2.0	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	2.5%	0.0%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	あすなろ教室	計画	空調、照明利用の省エネを実施する。
		実績	エコオフィス活動のポスターを掲示し、省エネ活動を実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月１日実施（対象者７名中７名参加）。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、教育センターにおける取組目標及び具体的な取組を検討し、設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	環境法令への該当チェック表により該当しないことを確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	６月１日実施（対象者３名全員参加）。 C-EMSの概要と教育センターにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月2日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
掲げた目標について、概ね達成できていると考えている。 引き続き、エネルギー使用量の削減に向けて、１人１人が意識を持って取り組んでいくことが必要であると考える。	エネルギー使用量の削減に向けて、所内で声掛け等を行いながら、常に意識を持って取り組んでいく。